

# 投稿規定

## 1. 投稿原稿の種類

原著、症例報告および短報とし、他誌との重複は不可。和文のみ。

## 2. 論文の募集と採否

- 1) 本誌編集委員会が審査を行い、採否を決定する。本誌全体の統一上、若干の修正を求めることがある。掲載は本誌編集部が投稿の量を考慮して掲載号を決める。
- 2) 症例報告など患者情報の記載のある論文については、患者のプライバシーに十分配慮したうえで執筆すること。
- 3) 臨床的研究ならびに動物実験は倫理性に配慮されていることを要する。
- 4) 臨床試験に関しては、本誌掲載の趣旨と内容を説明したうえで、患者本人(ただし、やむを得ない場合は本人に代わる人)の承諾をとり、文中にその旨記載すること。

## 3. 執筆要項

- 1) 400字詰原稿用紙に横書きとし(4枚1頁相当)、原則として原著20枚以内、症例報告15枚以内、短報8枚以内とし、写真、図、表は合計でそれぞれ8枚、6枚、4枚とする。
- 2) 第1枚目に表題(英文名も書く)、著者名(原則として5名以内)、所属機関名とその所在地、校正の送り先、別刷の必要な場合は別刷送付先を明記のこと。
- 3) 論文要旨として冒頭に掲載するため300字以内のものをつける(和文)。
- 4) ワードプロセッサを使用する場合はB5またはA4の大きさの用紙とし、原著8,000字、症例報告6,000字、短報3,200字以内とし、論文の最後に総字数を書く。
- 5) 日本語または外国語のキーワードを5~10個つける。
- 6) 薬品名は原則として一般名を用いる。
- 7) 写真、図、表は一括して添付し、その説明書きは別の原稿用紙にまとめて記入する。写真はネガまたは紙焼きのできるだけ鮮明なものにする。簡単な図の場合はラフ原稿の状態でも作図するが、複雑な図(臓器内の図など)は、白紙に黒インクで鮮明に記入する(誌面にそのまま使用する)。写真、図、表1点は原稿用紙1枚に換算する。
- 8) 図表の挿入場所は本文中に明確に指示すること。またでき上がりのサイズに特に指定がある場合はその旨記入すること。
- 9) 文字、句読点、かぎかっこなどは原稿用紙の1マスに1字ずつ、算用数字、欧文(小文字)は1マスに2字ずつ記入のこと。文字の字体(イタリック体など)および上付き、下付き(Ca<sup>2+</sup>、A<sub>1</sub>など)の指示は明確にする。
- 10) 文献は本文に引用されているもののみ挙げ、引用番号は本文の引用順にする。著者が4名以上の場合是最初の3名を書き、……他、……et al とする。  
書式は下記の通り(IM式)とする。

・雑誌の場合 番号) 著者名: 論文テーマ、雑誌名 巻(号): 頁、年号

【例】 1) 林 章敏, 恒藤 暁, 山本一成, 他: 癌性疼痛に対する大量モルヒネ療法; 5000mg/日を必要とした2例. 治療学 **24**: 984-986, 1990

2) Cleeland CS, Gonin R, Hatfield AK, et al: Pain and its treatment in outpatients with metastatic cancer. N Engl J Med **330**: 592-596, 1994

・単行本の場合 番号) 著者名: 論文テーマ、書名、編者、発行地、発行所、頁、年号

【例】 3) 武田文和: がんの痛みに対するモルヒネの有効な使い方. がん疼痛緩和とモルヒネの適正使用, 厚生省薬務局麻薬課 監. 東京, ミクス, 15-33, 1995

4) Doyle D, Hanks GWC, MacDonald N: Introduction. in Oxford Textbook of Medicine, ed by Doyle D, Hanks GWC, MacDonald N. Oxford, Oxford Univ. Press, 3-8, 1995

## 4. 掲載料

本誌1頁(400字詰原稿用紙約4枚)につき5,000円。4頁を超える場合は超過料金を課す。掲載論文の別刷は30部まで無料とし、それ以上の場合には有料とする。

## 5. 著者校正

原稿や著者校正済みのゲラの到着が遅い場合、編集部で責任校正を行うこともある。

## 6. 原稿の送り先

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-8 淀屋橋MIビル  
(株)メディカルレビュー社 編集部「がん患者と対症療法」担当宛